



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(無会派)



外神東公園の再整備は、市民の意見と歴史を大切にしながら進めるべき

問 市民の意見・要望を設計にどう反映させて、十分な計画性を持って進められているのか。

部長 外神東公園については、ベンチが欲しい、トイレが使いにくいなどの意見があるので、整備に反映していく。

問 外神東公園は、大規模な伐採・造成で公園の様子が大きく変わる。外神城の石垣を残してその上に遊具の設置を検討するなど、市民の意見を丁寧に聞いて欲しい。

市長 外神城の周辺は木が大きくなって暗ぼっとなり、こどもも大人も近づかない。

意見 定期的な間伐などで光が差す、風が通るように維持管理ができていれば、歴史を感じさせるよい公園になる。

問 外神東公園周辺の空気を駐車場にするように、地権者と協議できないか。

市長 地権者と相談してみる。

明星山公園の再整備は、市民の意見と貴重な自然に配慮して進めるべき

問 市民の意見をどう設計に反映させているのか。

部長 市民団体から、頂上付近に構造物を設置してほしくないという要望書が出されている。山頂の希少植物に配慮して進めていく。

問 明星山公園の最大の売りである山頂からの360°パノラマ展望を確保するために、てんぐ巢病に冒された桜の木をどうするのか。

部長 病気で駄目な樹木はしっかり管理して展望を確保できるように努めていく。

要望 市内の他の公園についても、病気に強い桜に植え替えていくことを進めて欲しい。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)



友好都市との交流事業について

問 国際交流の友好都市提携に関して一定の基準があればスムーズにいくのではないかと。

副市長 都市提携の関係というのは友人関係、富士宮市には沢山の友人がいるのだという友人関係の構築。それぞれの経緯があり、それぞれ所管があるように目的も違う。都市提携の中に一律の基準チェック事項にあつたら提携しようというのはなじまない。都市提携において一律の基準を策定しようという考えは現在ない。

こどもの居場所支援事業について

問 福祉部門と教育部門との連携についての当市の計画はいかがか伺う。

部長 こどもの居場所づくりを含めたこども・若者への支援を進めていくため、富士宮市こども・若者支援推進本部を立ち上げたところ。当推進本

部ではこども家庭統括監を本部長、教育部参事を副本部長とし、保健福祉部及び教育部のこども・若者関係課各々の課長級職員により構成される本部会と各々の部課の現場担当職員により構成される幹事会を開催する予定。各機関の連携体制で出た意見を現在策定中のこども計画に反映させ、こども・若者への支援施策であるこどもの居場所づくり事業についても当推進本部において協議検討し計画的に進める。8月に実施される総合教育会議の場において居場所づくり事業についても話し合っていく。

公共施設のWi-Fi環境、携帯電話の電波状況について

問 「繋がる＝安心」という現状において改善をしていく計画はあるか伺う。

部長 フリーWi-Fiを設置しても設置しなくても改善できる方法と可能性はある。各施設の要望があれば最終的にデジタル推進課でも検討していく。